

明石のぼうさい

編集発行/明石防火協会(明石市消防本部予防課内)
〒673-0044 明石市藤江924番地の8
TEL(078)918-5948 FAX(078)918-5983
ホームページアドレス: http://www.akashi-bouka.jp/



新入団員訓練の実施

四月二十一日(日)明石市消防本部敷地内において、午前九時三十分から十二時まで、新入団員八十六名を含む百六十名が参加して新入団員訓練が実施されました。二十五年度に初めて採用された女性消防団員十名を含む新入団員が規律・士気、及び協同動作の向上等を目的とした部隊訓練、ホース延長訓練、放水訓練等熱心に取り組みました。



防災本部予防課

四月十三日早朝に、淡路島付近を震源とする地震が発生し、最大で震度六弱(明石市は震度四)が観測され、震源地周辺の洲本市などで、約九千棟の建物被害が発生しました。(発災一ヶ月後のデータ)
兵庫県では、平成七年の兵庫県南部地震以来の大きな揺れであり、会員の皆さんはさぞ驚いたことと思います。

発生が五時三十三分であり、多くの皆さんは自宅に居たと思いますが、これが事業所の就業時間帯で、お客様が大勢いたり、危険物を取り扱う設備稼働中であつたと置き換えるとうどうでしょうか? 初動体制に万全を期すことができたでしょうか?

近い将来発生が予測されている南海トラフ巨大地震のみならず、今や日本のどの地域であつても地震対策を怠ることはできないことを今回の地震で再認識する必要があると思います。
危機意識は勿論のこと、さらに一歩進んだ実効性のある防災体制を検討する機会になつてもらえればと感じています。

私は地震の揺れで目が覚めたのですが、揺れている最中に携帯電話から普段耳にすることのない異様な音が鳴っていました。これは「緊急速報」エリアメールといい、気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報などを回線混雑の影響を受けずに受信することができるシステムです。

今回は震源地があまりにも近かつたため、揺れと同時に鳴っていました。南海トラフ巨大地震では、速報受信から揺れを感じるまでに二十秒ほどの猶予があると予想されています。

古い携帯(巷ではガラケー?)で対応できない方もいらっしゃるでしょうが心配は無用です。明石市は兵庫県南部エリア(淡路島を除く)で震度五弱以上が予測された場合、自動的に防災行政無線で放送するシステムが構築されています。
(今回の地震は明石市で震度五弱以上と予測されなかつたため放送はされませんでした。)



「明石の防災」



明石防火協会会長 柴田達三

初夏の候、明石防火協会の会員の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、会員の皆様には当協会の運営並びに、各事業所、近隣地域の防災・防災についてご尽力いただいております。こと心より感謝申し上げます。

さて去る四月二十四日に平成二十五年度明石防火協会総会がおこなわれ当協会顧問の泉市長にご臨席をたまわりました。ご祝辞の中で、平成二十四年の火災による死者が三十九年ぶりに0名を達成したことに対し、深い感謝とねぎらいの言葉をいただきました。これもひとえに会員の皆様をはじめ、市民の方々の防火に対する備え、心構えの充実の成果ではないかと推察いたします。

しかしながら、我々にとりまして防火・防災は終わりのない永遠のテーマであり、油断は一切許されぬ課題であります。皆様もご承知のとおり、近い将来、広域かつ甚大な被害が予想される南海トラフ巨大地震の発生が懸念されております。総会時の明石市消防本部予防課からの説明により、本市の被害想定は「最大震度:六強、最大津波高:三m、津波浸水面積:二十ha未満、津波到達時間:百九分」とのことです。

この様な状況下、明石防火協会といえども、自治体のみならず、我々民間事業者・市民の方々が、それぞれの役割と責任を自覚し、連携協力

消防本部からのお知らせ

試験・講習会等の案内

●平成25年度試験日程

	危険物取扱者試験			消防設備士試験			
	第1回	第2回	第3回	第1回	第2回		
試験日	平成25年 6月16日(日)	平成25年 10月19日(土)	平成25年 10月20日(日)	平成26年 2月9日(日)	平成25年 8月3日(土)	平成25年 8月4日(日)	平成25年 11月17日(日)
試験種類	●甲種 ●乙種 (第1~6類) ●丙種	●甲種 ●乙種 (第1~6類) ●丙種	●甲種 ●乙種 (第1~6類) ●丙種	●甲種 ●乙種 (第1~6類) ●丙種	●甲種(4種) ●乙種(第1~7類)	●甲種 (特類・1~3.5類)	●甲種 ●乙種 (第1~7類)
書面受付	平成25年 4月23日(火)~ 5月7日(火)	平成25年 8月29日(木)~ 9月9日(月)	平成25年 8月29日(木)~ 9月9日(月)	平成25年 12月11日(水)~ 12月20日(金)	平成25年 6月18日(火)~27日(木)		平成25年 9月17日(火)~27日(金)
電子受付	平成25年 4月20日(土)~ 5月4日(土)	平成25年 8月26日(月)~ 9月6日(金)	平成25年 8月26日(月)~ 9月6日(金)	平成25年 12月8日(日)~ 12月17日(火)	平成25年 6月15日(土)~24日(月)		平成25年 9月14日(土)~24日(火)

の中、総合的な防災訓練・避難訓練等を展開し地域の防災力、減災力の向上が必要不可欠かと考えております。
先人の言葉にも「備えあれば、憂いなし」といいます。
我々は最悪の事態を想定し、なにがあつても大切な家族・事業所・近隣住民を守り抜けるよう、日頃から備えておく必要があるのです。
会員の皆様方におかれましては、なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。益々のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げます。挨拶とさせていただきます。

「就任あいさつ」



予防課長 長谷川 健

このたび、消防署副署長から、はからずも明石市の火災予防行政を担う予防課長に就任しました長谷川と申します。

その職責の重さに身の引き締まる思いで、もとより浅学非災で、防火協会員皆様のお役に立てるかどうかが危惧しておりますが、最善を尽くし努力していきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願っています。

さて、これまでの我が国の建物火災を振り返りますと、昭和四十年代から五十年代にかけては、ホテルやデパートなどの大規模建物で多数の死傷者を伴う大きな火災が発生し、その度に消防法令の改正が行われ、また、関係者の防火意識の高まりから、近年ではホテル、デパート等の大規模事業所からの大火災は見られなくなってきました。

編集雑感(後記)

異常気象というとゲリラ豪雨、豪雪、干ばつなどを連想しますが近年、世界中で異常気象がよく見られ、自然災害の増加など地球温暖化の関連を懸念されることが多いように感じます。
災害は、備えが十分でなかったり、過去の災害の貴重な伝承を忘れたところにやってくるのは、今も昔も変わりません。日々の地道な備えを怠ることなく災害に対処したいものです。

TDK製の加湿器(注意喚起)

平成二十五年二月八日に長崎県長崎市グループホームで発生した火災事故では、四名の方が亡くなりました。この火災の出火元が、TDK株式会社製加湿器(スチーム式)の加湿器(KS1500H)である可能性が高いことが判明しました。同社の加湿器KS1500H、KS1300W、KS131W、KS132Gの4機種につきまして、発煙、発火に至る恐れがあり、重大事故も発生しております。現在、製品回収を行っているところですが、再発防止のため、事業所の皆様には、お持ちの同社製加湿器について、ご確認いただきますようお願いいたします。

平成二十五年度明石防火協会総会開催



平成二十五年四月二十四日(水)、午後四時から明石市防災センター多目的ホールにおいて、平成二十五年度の総会が開催されました。

総会の開会に先立ち、永年にわたり協会の事業推進に協力された五事業所に対して柴田会長から感謝状が贈られました。

総会は、八十二事業所八十二名が出席し、柴田会長のあいさつの後、泉市長からご祝辞をいただきました。そして、議長を会長にお願いし、議題の審議に入りました。

平成二十五年度事業

1 広報活動

・防火ポスターの募集と制作、防火ポスターの配布と、消防フェアの実施、「出初めを写そう」写真の募集と作品展示、会報の発行

2 訓練、研修会、講習

・防火管理講習・先進事業所の研修視察・自衛消防隊訓練指導会・各種講演会参加・防災センター及び消防庁舎の見学、体験

3 部会活動

・定例会(工場、危険物、医療福祉、特防、旅館ホテル部会)・危険物

防火協会会長表彰

防災講演会(工場、危険物部会)・視察研修(工場&危険物部会、特防&旅館ホテル部会、医療福祉部会)・消防出初式の出場(工場部会)



- 株式会社オィシス明石工場
- 三宮オイル株式会社明姫大久保給油所
- 神田株式会社明康殿
- 特別養護老人ホーム清華苑
- 栄家旅館

会員事業所紹介

神明病院

神明病院は、明石市の大久保地域を中心に医療と介護を通じ、地域の皆様に貢献できるよう運営を行っております。昭和五十四年に神明診療所を開業以来、皆様のご指導・ご協力を頂きながら診療体制の強化、介護部門の充実を図って参りました。

特に「医療・介護の質の向上」及び「心のこもった医療・介護の提供」を基本理念としています。又、当病院としては、職員一同三つの基本方針をモットーに日々、業務を行っております。

- ①患者様の権利と尊厳を守ります。
- ②周辺医療機関や施設との連携を強化し、地域医療に貢献します。
- ③チーム医療を重視し、専門職としての責任を遂行します。

今後とも地域の皆様の健康増進に役立てるよう努力して参ります。



「富士通春まつり 2013」の開催

平成二十五年四月十四日(日)に当協会の会員事業所である富士通(株)明石工場において「富士通春まつり2013」が開催され、晴天のもと、大勢の人が参加され、盛大におこなわれました。

このイベントは、富士通(株)明石工場が、地域住民とのふれあいを目的に毎年開催されており、消防本部予防課も昨年につづいて出展し、区画内でブースを設置していただき、ブース内とその付近で住宅防火啓発コーナー、水消火器体験コーナー、防火衣試着コーナー、輪投げコーナーを設け、親子連れの方を中心に大盛況でした。今後こういった機会をとらえて住宅防火についての普及啓発を推進していきたいと考えております。



東洋機械金属(株)



東洋機械金属は大正十四年五月に神戸製鋼所の紡機部門から分離独立し、紡機製造(株)として創業いたしました。その後、昭和十年より明石土山の地で操業を開始し、主力製品が織維機械から成形機に変遷した昭和三十七年を期に現在の社名となりました。土山にある本社工場は設計開発棟、加工、組立、製缶、塗装などの各工場から成っており、射出成形機、ダイカストマシンの開発・製造を行っております。

当社では、成形機専門メーカーとして、業界に先駆けて射出成形機の駆動力をサーボモーターとし、高い技術力で省電力・ハイサイクル・精密安定成形を実現しました。また世界で初めてダイカストマシンにも電動サーボシステムを採用し、電力消費量およびCO2排出量の削減に優れたマシンは国内外の顧客より高い評価を得ております。

防災への取組みについては、社内自衛消防隊を組織し、放水訓練、消防設備の点検などの活動を行っています。また、万一の場合に備え定期的に全社で避難訓練を行い、防災意識の向上にも努めております。

自衛消防隊員新任研修 「コベルコクレーン(株)大久保事業所」

平成二十五年四月二十五日(木)九時から十七時まで、明石市防災センターにおいて、コベルコクレーン(株)大久保事業所の新任社員八名が、消防職員の指導のもと厳しい訓練を受けました。

この訓練では、自衛消防隊員として基本的な消火器、屋内(屋外)消火栓の使用方法を学ぶとともに、市民救命士講習、訓練礼式、体力練成などを行いました。

消防訓練を終えて……藤井 佑介

今回の訓練では、人命救助とロープの結び方、火事の対応について学んだ。人命救助では、胸骨圧迫とAEDの使用の練習をした。人命救助は二回目だったが、分かっているようで何も分からなかった。まだ倒れている人に出会ったことはないが、これからそのような場面があれば自分にできることを一つでもやろうと思う。

ロープの結び方では最初に体力作りをした。ロープを扱う前に自分が動かなければ何の意味もないということと、筋トレをした。声を出し団結力を強めることができた。ロープは人命救助に必要な物で、自分達が使えたら、いざという時に役立つので、今回覚えた結び方を忘れないようにしようと思う。

最後に火事の対応ということで屋内と屋外の消火栓の使い方を学んだ。屋外消火栓は、ふざけると大事故につ

